

匠プロジェクト 第1弾
石川の伝統美コレクション 九谷焼
「川蟬の絵の傘」

小松精練株式会社(本社:石川県能美市 社長:蓮本英信)は、九谷彩色金襴手の祖、九谷庄三の技法を受け継ぎながら、現代に昇華する陶芸家「武腰潤」の色絵磁器の世界を、布の上に忠実に表現したオリジナル最高級洋傘「川蟬の絵の傘」を企画し、4月より本格販売を開始いたします。

「川蟬の絵の傘」の特長

1) 産地コラボであること

- ・ 石川の伝統工芸である九谷焼の色彩磁器の世界を布の上に忠実に表現。
- ・ 作家は日本を代表とする色絵磁器作家「武腰潤」先生。
- ・ 武腰先生の磁器の上の名作・九谷焼の奥深い美しさを世に広く識って欲しい、という周囲の想いの実現を布で表現したく、先生の了承を得たもの。
- ・ 傘地は東レ(株)の原糸を使い、丸井織物(株)(中能登町)が製織。
- ・ 傘地の加工は小松精練(株)のデジタルプリント・モナリザで立体感のある「色絵」を再現。
- ・ 傘のシャフトには東レ(株)石川工場(能美市)の炭素繊維を使ったカーボンシャフトを使用。

2) 高い技術力の結集であること

- ・ 小松精練(株)のモナリザは、国内最高の技術を誇るセイコーエプソン社と共同でマシン開発した世界に1台しかない(現在はこの世界初のマシンを3台保有)高性能デジタルプリントマシンを使用。1670万色という色数をコントロールすることで、緻密なまでに色絵磁器の世界感を表現。
- ・ 東レ(株)石川工場の炭素繊維を用いたカーボンシャフトを使用しているため、丈夫で且つ非常に軽い。
- ・ 傘地には厳選された東レ(株)の原糸を使用。
- ・ 高度な織布技術を保有されている世界的織布メーカー 丸井織物(株)が製織。
- ・ 傘の製造には、百年以上の歴史を誇る老舗の傘メーカー カネイ(株)(東京都)が担当。国内産にこだわり、職人の技が光る。

3) 今までに無いものであること

- ・ 贈答品として遜色ない高級感があること。
- ・ 化粧箱の表書きは武腰先生の直筆であること。
- ・ 傘の取っ手部分には、今では大変希少な桜の木を使用していること。
- ・ 特別仕様の資材調達にも限界があるため第1弾は300本の限定の生産。

「川蟬の絵の傘」の販売について

- ・ 第一弾の傘バリエーションは、3柄に対し地色が各3色(計9種類)
- ・ 傘の販売価格は25,000円/本(税別・箱入り)
- ・ 店頭販売については4月より都内有名百貨店及び有力通販のみで開始。(県内は現時点、一般消費者向けの販売予定無し)
- ・ 但し、プレワークの段階では既に贈答用として100本の予約済み(県外)

※引き続き9月には「武腰潤」第2次企画を展開予定

なお、匠プロジェクトについては今後、漆器、牛首紬、友禅等を逐次開発の予定

「川蟬の絵の傘」に関するお問合せ

小松精練株式会社

広報課

TEL:0761-55-8070

「川蟬の絵の傘」色絵



「川蟬の絵の傘」製品写真

